

水滴石穿、夢が目標に変わる時

COLUMN
県内
大学発

経世済民

674

現短大2年生の就活も中盤になり、次々に学生が志望する企業から内々定を受けたことを報告に来る。積み重ねた努力により夢を目標に変え、初めて経験する社会の競争を勝ち抜いて希望ある未来へのパスポートをつかんだ。観光分野だけでなく、接客業の鉄道・自動車・美容、事務職の医療事務・物流などの各業界大手企業からも多くの朗報を持ち帰った学生たちへ、その労をねぎらいつつ言葉をかけると

むよつな早い段階から活動を開始し、インターンシップや複数学となる資格取得に夜遅くまで取り組み、その積み重ねで流した汗と涙は「水滴りて石を穿つがごとし」そのものであり、ここに長い旅路の終着点にたどり着いた。

いた。

コロナ禍で敬遠されると思われた私の専門分野の一つであるホテル・ブライダル業界を志望する学生数は、本学では年々増え続けている。それは2021

え続けている。それは2021

川口短期大 富吉 光則

ビジネス実務学科准教授



年から実施している夏休みの長期インターンシップ、数々の魅力ある企業訪問や大学内説明会の誘致を実現してきたことに比列している。その上で個別指導を行う学生には点の指導をつないで線にし、さらに面へと積み上げ、立体的に可視化していく。合理的な準備の観点から人工知能(AI)を使った感情分析も新たに導入して精度を上げた。自己PRの添削のみ、就活イベントへの引率だけといった単発

で終わる指導とは一線を画し、一貫して最終目標である「川短ブランド」に高めるために全ての指導はつながっている。また一方で就活に取り組み学生とは手間をかけて繰り返し面談し、当てにされる対象ではなく信頼し合う関係を構築していった。自分の思いを、人生のデザインを必死で模索する学生は、やがて人に頼るのではなく自ら切り開く自己肯定感にたどり着く。これが就活を通じた教育的効果を実感する最も貴重な瞬間だ。昨夏より観光全般を俯瞰(ふかん)して見えてきた航空業界・空港に貢献するための人材輩出に取組むこと(かじ)を切った。押し寄せる訪日観光客をさばくブランドハンドリング業務の人員が新型コロナにより手薄になり、重要な空の移動に支障さえ出ている現場の窮状を若い力で補いたいと願う。4年前にわずか数人の受講生から始まったエアライン関連の複数の科目は今や100人を超す学生が目撃を受けて受講している。現場体験を通して夢を目標に変え、社会の役に立ちたいと1年をかけて水滴石穿する若い才能を引き出し、川短から世界へとテイコオフするさまを見据えた、その視界と見通しは明るい。

とみよし・みつりの 神奈川県立大学経済学部貿易学科卒業。旅行社・エアライン関連勤務を経て非常勤講師を歴任後20年より現職。観光ビジネス科目全般を担当。環境省の「国立公園OP」空港ブランドハンドリング協会「加盟を立案し担当。観光庁登録地域周遊・長期滞在促進のための専門家」。専門はサステナブル・ツーリズム。

とみよし・みつりの 神奈川県立大学経済学部貿易学科卒業。旅行社・エアライン関連勤務を経て非常勤講師を歴任後20年より現職。観光ビジネス科目全般を担当。環境省の「国立公園OP」空港ブランドハンドリング協会「加盟を立案し担当。観光庁登録地域周遊・長期滞在促進のための専門家」。専門はサステナブル・ツーリズム。